

平成25年度 各分野の取組状況
「国際物流のあり方・戦略」

＜国際物流の戦略的な強化の推進に関する取組＞

1. 総合的な物流機能強化に向けた戦略と取組
2. 国際コンテナ戦略港湾としての阪神港の機能強化等
3. 国際航空物流関係
4. 道路ネットワーク関係

関西イノベーション国際戦略総合特区①

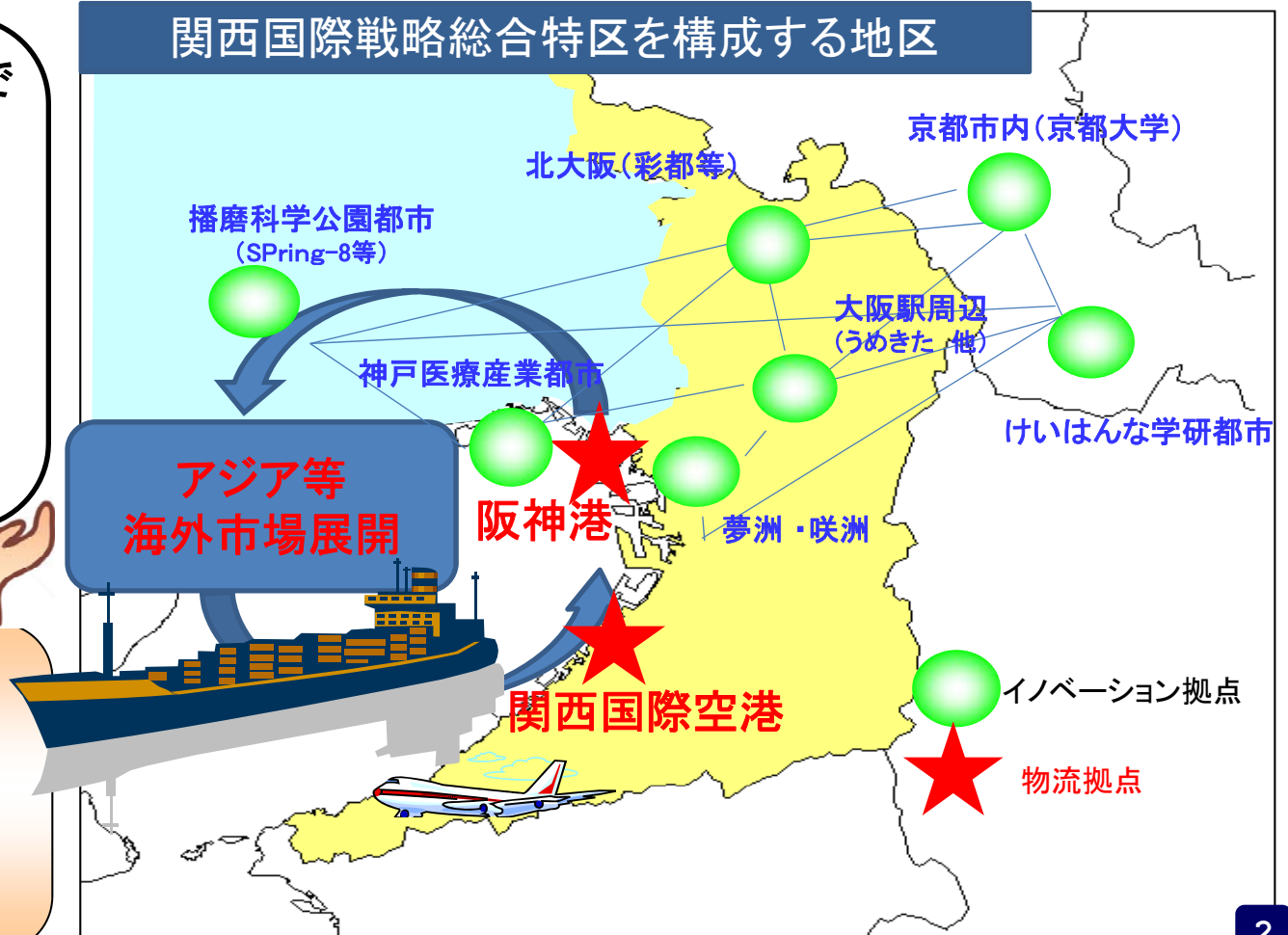
- ① 我が国産業の中枢を担う世界トップレベルの産業と関西の自治体とその区域を越えて一体となって取り組む特区。
- ② 世界水準の豊富な地域資源の活用と徹底した選択と集中により、特区事業を実施する区域として設定している。
- ③ 2012年3月～2013年11月、8回にわたり国に特区計画を申請し、全国トップの43プロジェクトが認定された。
- ④ 2012年12月19日、現在の対象区域に、関空1期島の一部、2期島、大学や企業の研究所等を国に追加申請し、2013年2月15日に指定された。

重点的に取り組む6つのターゲットでイノベーションを創出

- ① 医薬品
- ② 医療機器
- ③ 先端医療技術(再生医療等)
- ④ 先制医療
- ⑤ バッテリー
- ⑥ スマートコミュニティ

イノベーションの創出を支える国際物流分野として
**国際コンテナ戦略港湾「阪神港」、
 関西国際空港**の機能強化を推進する。

関西国際戦略総合特区を構成する地区



関西イノベーション国際戦略総合特区②（認定プロジェクト）

地区	プロジェクト名	認定	区分	実施主体	進捗状況 〔H25.11月現在〕
京都市内	1 先制医療の実現に向けたコホート(疫学)研究・バイオマーカー研究の推進	第1回	税制1	㈱エイアンドティー	○ (H24年度事業開始)
	2 革新的治験薬候補品のヒト臨床への外挿性を高める実証・評価設備導入	第6回	財政1	京都大学	○ (H25年度事業開始)
	3 核酸医薬品の研究開発促進及び製造に係る生産技術の確立	第8回	税制2	日本新薬㈱	△ (H25年度事業開始予定)
	4 がん・免疫・循環器系・中枢神経系等領域及び希少疾患における革新的医薬品等の研究開発	第8回	税制3	日本新薬㈱	△ (H25年度事業開始予定)
	5 革新的消化器系治療機器の開発	第8回	財政2	京都府立医科大学、ウシオ電機㈱、大成化工㈱	○ (H25.10事業開始)
		第8回	財政3	京都府立医科大学	○ (H25.11事業開始)
6 低侵襲のがん医療機器とBody-GPSを含む手術ナビシステムの開発	第8回	財政4	京都府立医科大学	○ (H25.11事業開始)	
けいはんな学研都市	7 次世代エネルギー・社会システム実証事業の成果の早期実用化による国際市場の獲得	第1回	税制4	A社	○ (H25年度着工予定)
		第1回	税制5	B社	○ (H24年度事業開始)
		第1回	財政5	オムロン(株)、古河電気工業(株)ほか	○ (H22~26実証事業実施)
		第2回	税制6	㈱エム・システム技研	○ (H24.2事業開始)
	8 スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備	第2回	税制7	エレクセル㈱	○ (H24.12事業開始)
第8回		規制1	京都府	△ (H26年度事業開始予定)	
北大阪(彩都等)	3 核酸医薬品の研究開発促進及び製造に係る生産技術の確立	第1回	税制8 金融1	㈱ジーンデザイン	◎ (H25.3竣工)
	9 次世代ワクチンの開発	第2回	税制9	(一財)阪大微生物病研究会	○ (H25年度事業着手)
	10 ペプチド医薬の製造に係る大量生産技術の確立	第2回	税制10 金融2	㈱ペプチド研究所	—
	11 PET製剤の臨床適用を迅速かつ効率的に実施するための措置	第2回	税制11	(今後特定)	△(規制緩和提案継続、実現次第、着工)
	12 PMDA-WEST機能の整備及び治験センター機能の創設	第2回	財政6	関西の主要医療機関	○ (H25年度実証事業開始)
	4 がん・免疫・循環器系・中枢神経系等領域及び希少疾患における革新的医薬品等の研究開発	第5回	税制12	大日本住友製薬㈱	○ (H25.6着工)
	13 生理活性脂質等の独創的な医薬品研究開発の促進	第5回	税制13	小野薬品工業㈱	—
	14 パッケージ化した医療インフラの提供	第5回	財政7	大阪商工会議所、国立循環器病研究C	○ (H25.9事業開始)
	15 放射光とシミュレーション技術を組み合わせた革新的な創薬開発の実施	第6回	税制14 金融3	㈱ジェイテック	○ (H25.9事業開始)
	16 PIC/S等 GMPに準拠した医薬品・医療機器の製造促進	第6回	税制15	アース環境サービス㈱	△ (H25年度着工予定)
	17 アカデミア発創薬(低分子医薬品)の促進	第6回	財政8 財政9	大阪大学等	○
	18 再生医療・細胞治療の早期実用化	第6回	税制16	㈱ジェイテック	○ (H25.9事業開始)
	19 感染症、代謝性疾患、疼痛などの領域における革新的医薬品の継続的な創製	第7回	税制17	塩野義製薬㈱	○ (H25.11事業開始)
20 ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の実用化促進	第7回	財政10	京都大学原子炉実験所、大阪府立大学	○ (H25.8事業開始)	
	第7回	税制18	ステラケミア㈱、ステラファーマ㈱	○ (H25年度下期事業実施)	
大阪駅周辺(うめきた他)	21 国際的な医療サービスと医療交流の促進	第1回	税制19 金融4	(今後特定)	△ (H25年度事業開始予定)
	22 医工・看工連携による高齢化社会対応機器・サービスの開発・実証	第2回	税制20 金融5	(今後特定)	△ (H25年度事業開始予定)
	1 先制医療の実現に向けたコホート(疫学)研究・バイオマーカー研究の推進	第2回	税制21	淀川キリスト教病院	○ (H25.4事業開始)
	23 イノベーション創出事業 ※コンベンションセンター等	第2回	税制22 金融6	㈱コングレ、㈱KMO、(一社)ナレッジキャピタル	○ (H25.4事業開始)

地区	プロジェクト名	認定	区分	実施主体	進捗状況 [H25.11月現在]	
夢洲・咲洲	24 スマートコミュニティ関連の技術の実証・事業化とショーケース化	第1回	財政11	大阪市	○ (H24年度実証事業実施)	
		第6回	財政12	(株)日建設計総合研究所	◎ (H24年度事業実施済)	
		第6回	財政13	大阪市立大学	○ (H24年度事業開始)	
	25	バッテリー戦略研究センター機能の整備	第2回	財政14	大阪府	◎ (H24年度事業実施済)
	26 再生可能エネルギー等、多様なエネルギーを利用した電力インフラのシステム構築	第2回	金融7	住友商事(株)他	○ (H25.10事業開始)	
		第5回	税制23	住友電気工業(株)	△ (H25年度事業開始予定)	
		第8回	税制24	住友商事(株)	△ (H26.2事業開始予定)	
27	世界No.1のバッテリースーパークラスターの中核拠点の形成	第5回	税制25	住友電気工業(株)	△ (H25年度事業開始予定)	
神戸医療 産業都市	28 中枢神経系制御薬の開発	第1回	税制26 金融8	TAOヘルスライフファーマ(株)	○ (H24.4事業開始)	
		第2回	税制27	(株)カン研究所	○ (H25.2着工)	
		第2回	税制28	千寿製薬(株)	○ (H24.10事業開始)	
	29 高度専門病院群を核とした国際医療交流による日本の医療技術の発信	第1回	税制29 金融8	神戸国際フロンティアメディカル センター病院	○ (H25.3着工)	
				神戸低侵襲がん医療セ ンター	◎ (H25.3竣工)	
				西記念ポートアイランドリハ ビリテーション病院	◎ (H25.3竣工)	
	30 イメージング技術を活用した創薬の効率化	第2回	税制30	(株)ナード研究所	◎ (H24.12竣工)	
	18 再生医療・細胞治療の早期実用化	第2回	税制31	(一社)日本血液製剤 機構	○ (H24.10事業開始)	
	31 高度なドラッグ・デリバリー・システム技術との組み合わせによるバイオ医薬品の研究開発	第5回	税制32	日本ケミカルリサーチ (株)	◎ (H25.7竣工)	
	32 粒子線治療装置の小型化や粒子線照射の高精度化等に関する技術開発	第5回	税制33	三菱電機(株)	○ (H25.5事業開始)	
	33 医療機器・新エネルギー分野等でのものづくり中小企業の参入促進	第6回	財政15	(公財)神戸市産業振 興財団	○ (H25.9事業開始)	
34 遺伝子組み換え技術・発酵技術・培養技術や分離精製技術等を用いた革新的な医薬品の創出及びその基 盤技術の確立	第7回	金融9	神戸天然物化学(株)	△ (H25年度着工予定)		
4	がん・免疫・循環器系・中枢神経系等領域及び希少疾患における革新的医薬品等の研究開発	第8回	税制34	大日本住友製薬(株)	△ (H25年度事業開始予定)	
播磨科学 公園都市	35 SPing-8を活用した次世代省エネ材料開発・評価	第2回	税制35	C社	○ (H25.6事業開始)	
	15 放射光とシミュレーション技術を組み合わせた革新的な創薬開発の実施	第2回	財政16	(財)計算科学振興財 団	○ (H24年度事業開始済)	
関西国際 空港	36 クールチェーンの強化とガイドライン化	第1回	税制36	CKTS(株)他	○ (H24.8一部着手)	
	37 国際物流等事業者誘致によるアジア拠点の形成	第1回	税制37	新関西国際空港(株)	○ (H26春頃竣工予定)	
	38 医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化	第5回	規制2	実証実験参加企業	○ (H25.3一部事業開始)	
阪神港	39 イノベーションを下支えする基盤の強化(阪神港地区関連事業)	第1回	税制38	(株)上組	◎ (H24.11竣工)	
		第3回		商船港運(株)	◎ (H24.10竣工)	
		第5回		金融10	(株)辰巳商会	○ (H25.10工事完了)
	40 国内コンテナ貨物の集荷機能の強化	第1回	財政17	国土交通省	○ (H23.8事業開始)	
41 港湾コストの低減	第1回	財政18	国土交通省	◎(ポートアイランド耐震整備 完了)		
共通 ※京都市内、北大阪、大阪 駅周辺、神戸医療産業都市 等	42 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援	第1回	財政19	事業管理支援法人(⇒大阪 商工会議所)等	○ (H24.6採択、開始)	
		第1回	財政20	大阪商工会議所	○	
		第5回	財政21	(公財)先端医療振興財 団、大阪商工会議所	○ (H25.7事業開始)	
	43 医療機器等事業化促進プラットフォームの構築	第7回	財政22	大阪商工会議所、大阪大 学、国立循環器病研究セン ター	○	
12	PMDA-WEST機能の整備及び治験センター機能の創設	第7回	財政23	(独)医薬品医療機器 総合機構(PMDA)	○ (H25.10開設)	

関西イノベーション国際戦略総合特区③ (【事例】医薬品・医療機器等の輸出入手続の電子化・簡素化(関西国際空港地域拠点協議会事業))

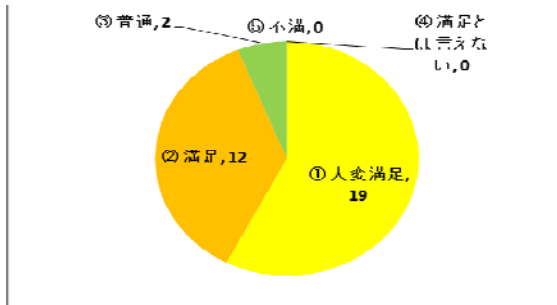
- 目的: 関西・西日本地域のライフサイエンス分野の研究・開発・生産に必要な輸出入手続の迅速化・円滑化を図るとともに、関西国際空港におけるライフサイエンス貨物の取扱機能の向上を図る。
- 概要: 現在、紙ベースで取り扱われている医薬品等の輸入・輸出時に必要な手続に関し、薬監証明、輸入届、輸出届を電子化。(国際戦略総合特区の枠組の下、国の電子申請システムが実現するまでの間の実証実験事業として位置づけ、国が必要な制度改正を行い、地元が特区事業として実施。)
- 進捗: 2013年4月 薬監証明について、電子申請サービス(MEDIX-press)運用開始。(2013年12月現在の利用企業:42社)
 2013年4~10月 国と継続して協議・調整
 2013年10月 輸入届、輸出届については、国が2014年10月に導入を予定しているNACCSシステムの開発に際し国と協議会が共同で、国システムの利便性向上に向けた検討を進めていくことで合意。
 2013年10月 薬監証明電子申請サービスの対象品目に「毒物・劇物」を追加したことにより、すべての品目において薬監証明の電子申請が可能に。
 2013年11月 薬監証明電子申請サービス利用者に対し、効果検証のためアンケート調査を実施。

【アンケート調査結果】

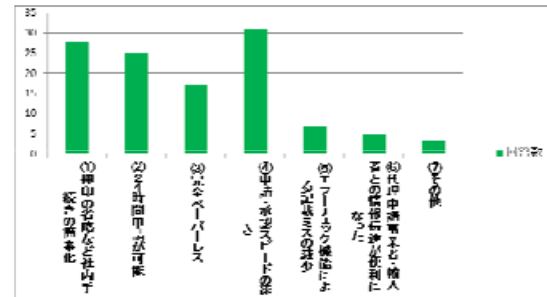
全利用者が大変満足・満足と評価⇒利用者の3分の1が電子化前と比較して関空利用が増加したと回答！

(注:有効回答数33、うちサービス利用者は31)

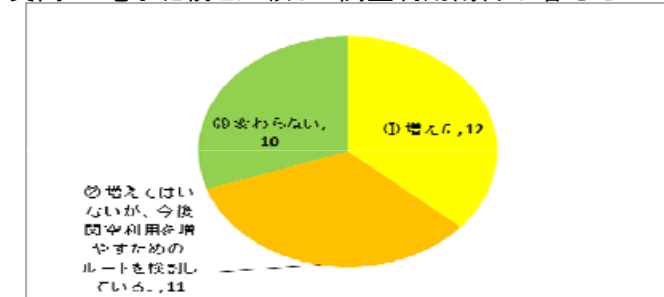
質問1. 薬監証明電子申請サービスの評価は?



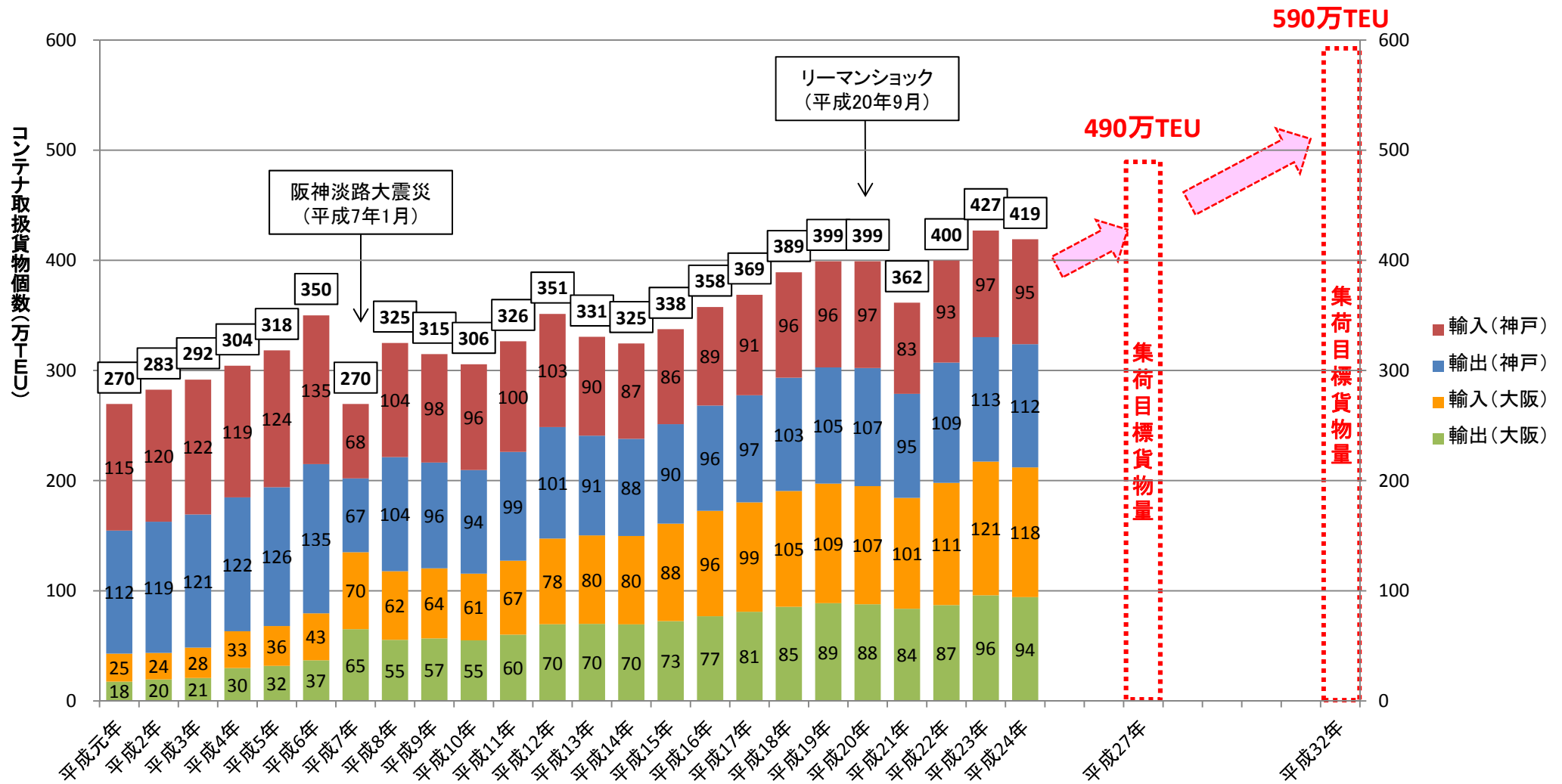
質問2. 薬監証明電子申請サービスの利点は?



質問3. 電子化前と比較して関空利用割合は増えたか?



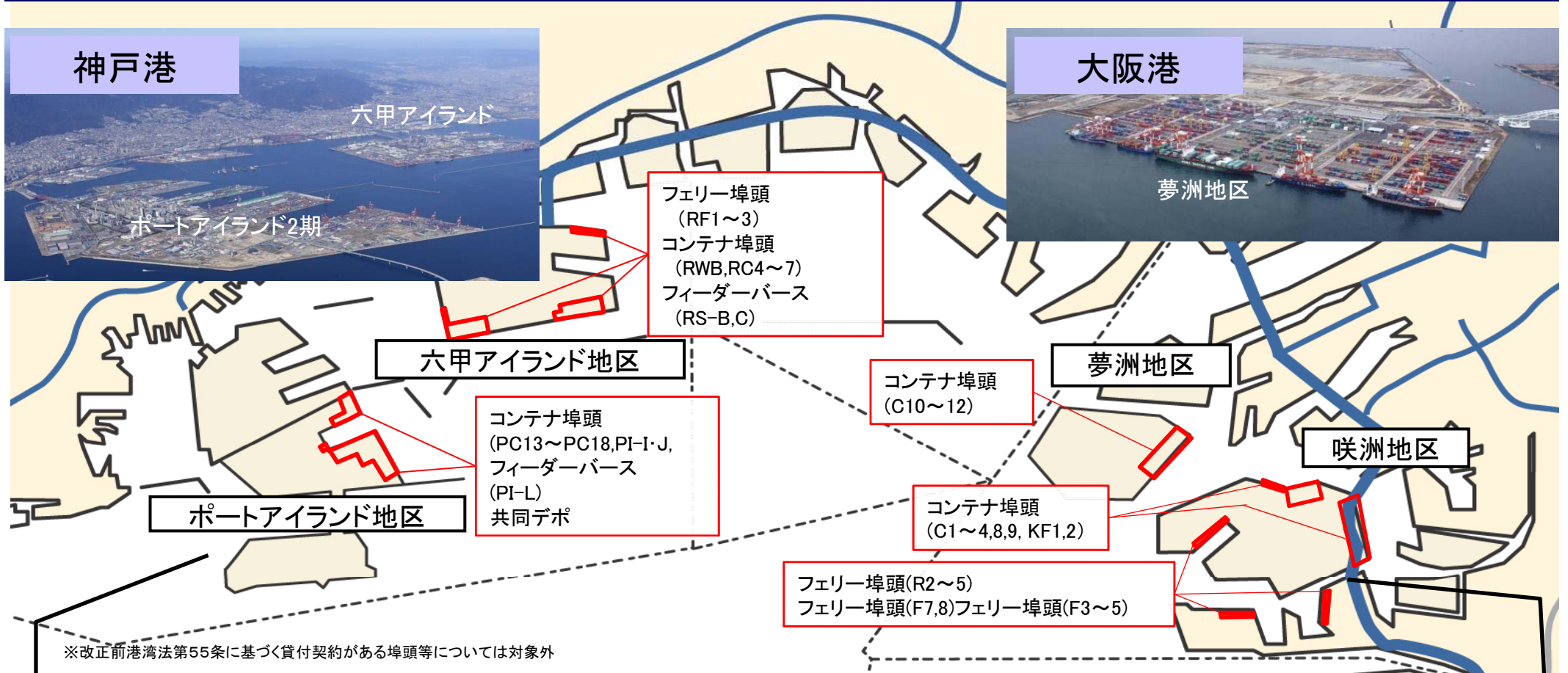
国際コンテナ戦略港湾「阪神港」①（取扱貨物量の実績と集荷目標）



出典:

- ※平成元年～平成24年は、大阪市「大阪港港湾統計年報」、神戸市「神戸港大観」をもとに近畿地方整備局作成。
- ※集荷目標貨物量は、「阪神港 国際コンテナ戦略港湾の選定に向けた計画書(神戸市、大阪市、神戸港埠頭公社、大阪港埠頭公社、兵庫県、大阪府)H22年6月8日」に記載の集荷目標貨物量。

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」③（特例港湾運営会社が運営を行う範囲）



＜神戸港埠頭株式会社（旧神戸港埠頭公社）＞

平成23年 4月 1日 **埠頭公社を株式会社化**

平成24年10月17日 特例港湾運営会社に指定

平成24年12月28日 運営を開始

＜大阪港埠頭株式会社（旧大阪港埠頭公社）＞

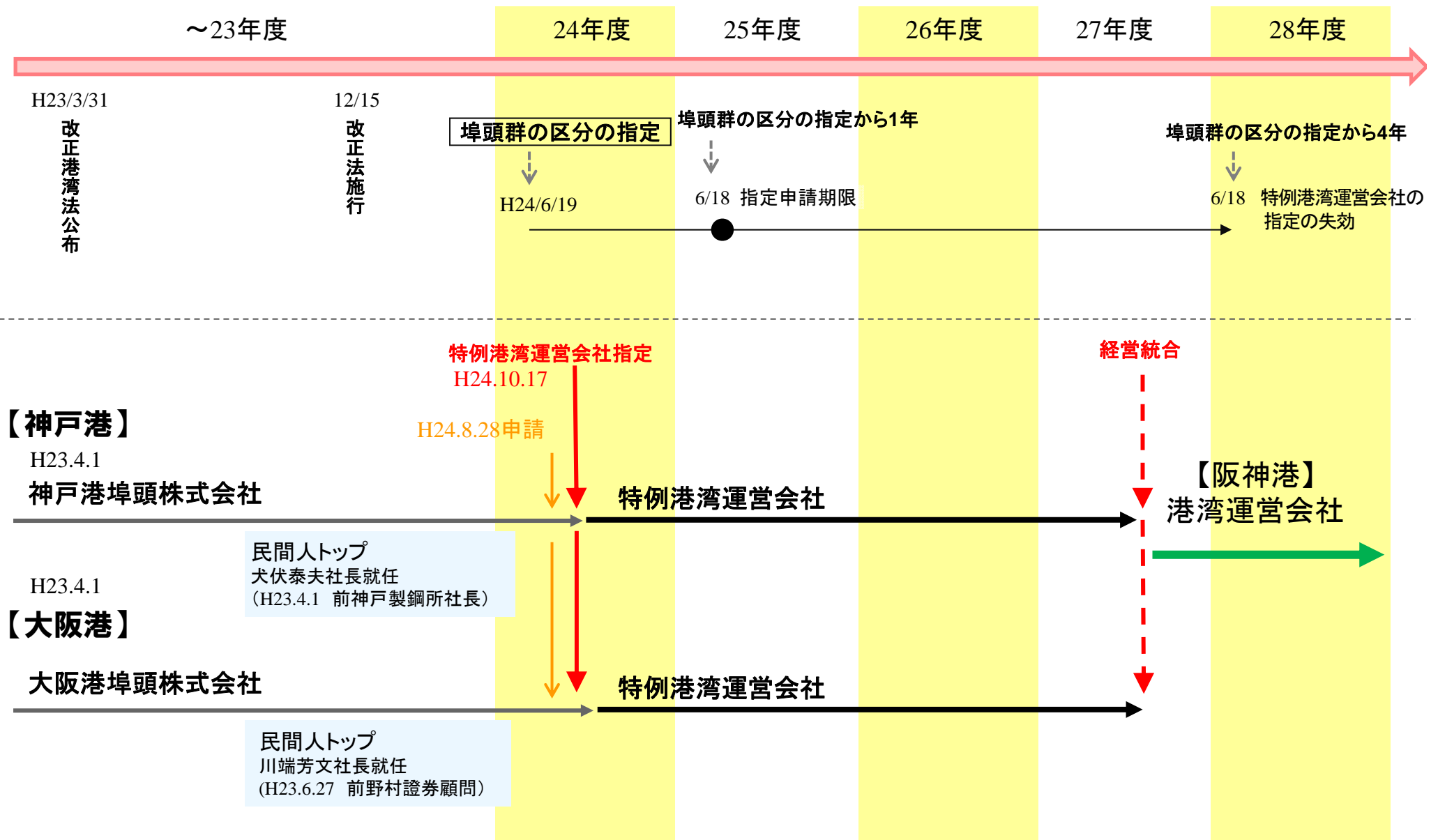
平成23年 4月 1日 **埠頭公社を株式会社化**

平成24年10月17日 特例港湾運営会社に指定

平成24年12月28日 運営を開始

平成27年までに**両社が経営統合**

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」④（港湾運営会社指定等のスケジュール）



国際コンテナ戦略港湾「阪神港」⑤ 西日本地域からの貨物の集約(国際フィーダー輸送の強化)

阪神港における集貨施策

欧米基幹航路への輸送において、西日本の港湾から釜山港など東アジア主要港で積み替えられているコンテナ貨物を、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」へ集約するモデル事業を実施中。

(1) 国際フィーダーによる集貨事業

- 国際コンテナ戦略港湾フィーダー機能強化事業(国土交通省)
- 内航フィーダー利用促進事業(神戸市)
- 内航船によるコンテナ貨物等輸送事業(大阪港埠頭株式会社)

(2) 内陸部等からの集貨事業

- 阪神インランドコンテナデポ(野洲)、コンテナラウンドユース事業、外貿コンテナ貨物増加事業(大阪港埠頭株式会社)
- 陸上輸送距離短縮等貨物誘致事業(神戸市)

(3) 国際トランシップ貨物の獲得による集貨事業

- 神戸港トランシップ貨物誘致促進事業(神戸港埠頭株式会社)

(4) ソウル首都圏からの集貨事業

- ソウル首都圏貨物誘致事業(神戸市)

(5) 新規航路誘致事業

- 新規航路誘致事業(神戸市)
- 新規航路インセンティブ(大阪港埠頭株式会社)

国際コンテナ戦略港湾フィーダー機能強化事業(H23~25年度)

○阪神港へのフィーダー機能の抜本的な強化を図るべく、**新規に国際フィーダー航路※**を立ち上げ、広域からの貨物集約を促進。

※「国際フィーダー航路」とは、国際コンテナ戦略港湾と国内各港を結ぶ内航航路を指す。

○今年度は当該航路による取扱貨物量の目標を約8万TEUを設定(H25.3月時点の実績は約2万6千TEU)。



西日本内航フィーダー合同会社※の大型船「エメラルド」(314TEU積)

※西日本内航フィーダー合同会社とは、港運業者7社の出資により設立された合同会社であり、平成23年5月より運航を開始し、西日本諸港から阪神港への集荷(週2便程度)を行っている。



ターゲットは西日本港湾発着の海外で積み替えられている貨物



新規輸送網の構築を目指したモデル事業の実施

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」⑥ 西日本地域からの貨物の集約（内陸部等からの集貨事業）

阪神港における集貨施策

(1) 国際フィーダーによる集貨事業

- 国際コンテナ戦略港湾フィーダー機能強化事業(国土交通省)
- 内航フィーダー利用促進事業(神戸市)
- 内航船によるコンテナ貨物等輸送事業(大阪港埠頭株式会社)

(2) 内陸部等からの集貨事業

- 阪神インランドコンテナデポ(野洲)**、コンテナラウンドユース事業、外貿コンテナ貨物増加事業(大阪港埠頭株式会社)
- 陸上輸送距離短縮等貨物誘致事業(神戸市)

(3) 国際トランシップ貨物の獲得による集貨事業

- 神戸港トランシップ貨物誘致促進事業(神戸港埠頭株式会社)

(4) ソウル首都圏からの集貨事業

- ソウル首都圏貨物誘致事業(神戸市)

(5) 新規航路誘致事業

- 新規航路誘致事業(神戸市)
- 新規航路インセンティブ(大阪港埠頭株式会社)

阪神インランドコンテナデポ(野洲)

阪神港へのコンテナ貨物の陸上輸送コスト削減を目指すインランドポート実証実験を実施。結果の検証、改善策を講じながら、本格事業実施への移行を目指す。

実験期間 平成24年10月
～平成26年3月(予定)

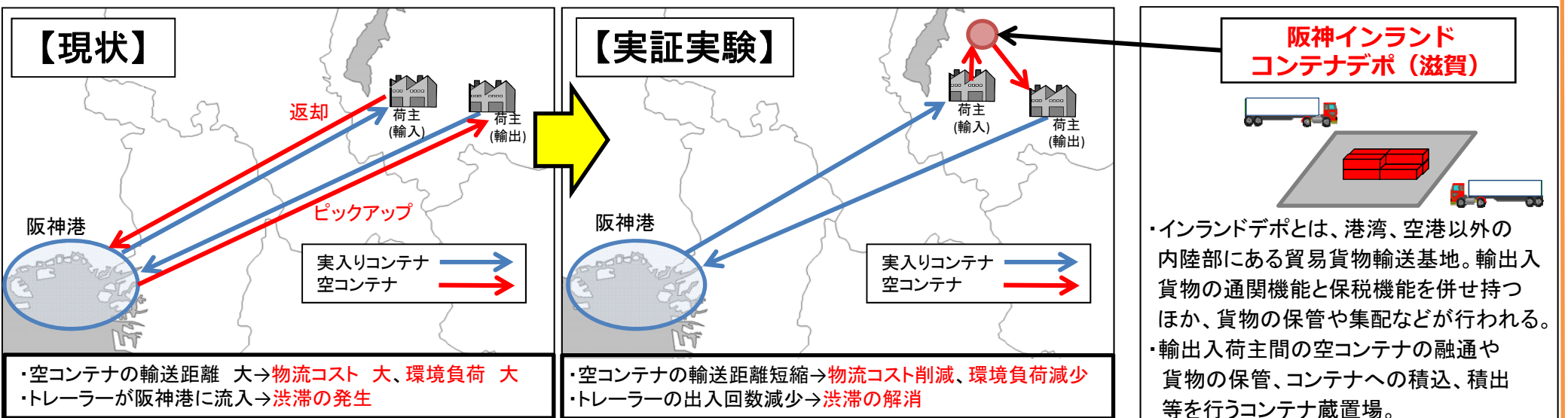
設置場所 滋賀県野洲市内

施設規模 約5,000㎡(当初 約3,000㎡)

要件 阪神港を利用するコンテナ貨物

支援措置 1,000円/TEU
(コンテナ積込、積出/回)

契約船社 SITC, OOCL, MOL



* 左記支援措置は、大阪港埠頭(株)が実施するものであり、大阪港を利用した場合にのみ適用される。

* 上記とは別に、神戸市が実施する「陸上輸送距離短縮等貨物誘致事業」を利用して同デポを利用した場合、神戸市から4,000円/TEUの支援が得られる。

大阪湾における船舶運航サポート情報提供

情報提供の在り方に関する検討調査

港湾の国際競争力の強化を図る諸施策の実施等により航行船舶の増加が見込まれる中、安全で効率的な船舶交通環境の構築が課題となっており、平成19年8月に「大阪湾船舶運航サポート情報提供推進会議」を設置し、海域利用者の相互協力による安全、効率的な船舶運航を情報面から支援する体制の在り方を検討し、平成19年12月に検討結果を取りまとめた。

○調査結果に基づく短期的な整備体制

- ・海域利用者等で構成する協議会を設置し、事業化を目指す。
- ・「漁船操業情報」と「大阪湾全域レーダー画像」の2つの情報提供に絞って事業化を計画することが適当。

大阪湾運航サポート協議会

1. 活動概要等

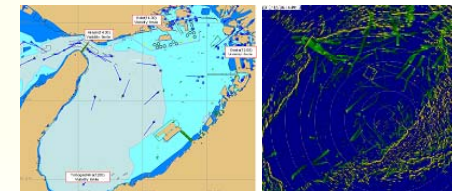
- ・平成20年4月 1日 海運会社、水先人、漁業者団体、港湾管理者、関西国際空港などの海域利用者で構成する「大阪湾運航サポート協議会」が設立され、事業化を目指した検討を開始
- ・平成22年7月-8月 利用状況や操船者が必要とする情報などについて利用者アンケート調査を実施し(7-8月)、アンケート調査結果を取りまとめ(9月)
- ・平成22年9 - 12月 上記アンケート調査結果に基づき、情報内容や提供方法を改善
主な改善: 関空レーダー画像情報の追加、時系列での漁船操業情報の提供、情報更新のスピードアップなど
- ・平成23年8月 津波等緊急情報のメール配信サービスを開始
- ・平成23年11月 大阪湾主航路浚渫工事に関する情報提供を開始(AIS情報を基にして浚渫船・土運船の現在位置を表示)

パンフレットを作成し、
広報活動展開中



2. 提供情報

- ①大阪湾全域レーダー・AIS画像情報 (神戸港レーダー・AIS重畳画像情報10分間隔で更新、関西空港レーダー画像情報5分間隔で更新)
- ②漁船操業状況情報 (ア)対象漁業 パッチ網漁(イナゴ漁、イワシラス漁)、流し網漁(サワラ漁)
(イ)情報種類 操業状況情報(漁船、漁網の位置情報)、
予報情報(パッチ漁船の操業位置の予報)
- ③視程情報 大阪港、神戸港、友ヶ島水道、明石海峡付近の視程情報を随時更新
- ④津波等緊急情報(メール配信) 大津波警報等、台風警戒態勢・避難勧告発令、異常気象、事故情報など
- ⑤その他の海域情報



レーダーAIS重畳
画像情報

関西空港レーダー
画像情報

3. 協議会の課題

- ・組織基盤の強化 対策…広報活動の強化
- ・情報内容の充実 対策…バース毎の風向、風速情報など利用者から要望のある情報の提供

長期的な整備体制の構築を目指す(委員会を設置(H24.6.5)して検討中)

近畿の日本海側拠点「舞鶴港」①

【機能別拠点港】平成23年11月11日に、国際海上コンテナ、国際フェリー・国際RORO船、外航クルーズ(背後観光地クルーズ)の3機能の日本海側拠点港に選定

【舞鶴港の目指す姿】

- ・若狭湾ユニットロードハブ拠点化
- ・地域発生集中コンテナ貨物の日本海側拠点化
- ・関西、東海経済圏における日本海側人流拠点の形成

【舞鶴港拠点形成に向けた機能強化の取り組み】

<国際海上コンテナ>

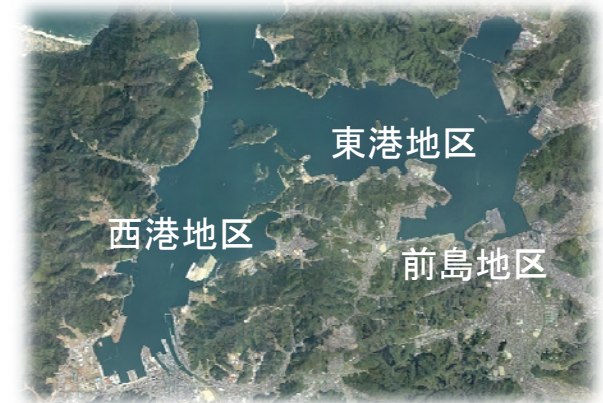
- ・阪神港との役割分担と相互補完
- ・関西経済圏のリダンダンシー機能を備えた国際物流体系を構築

<国際フェリー・国際RORO船>

- ・高速国際フェリー航路の開設
- ・内航フェリーと連携した国際・国内ユニットロードハブを形成
- ・舞鶴港(前島地区)複合一貫輸送ターミナルを増深改良(平成19年度～平成27年度)

<外航クルーズ(背後観光地クルーズ)>

- ・環日本海国際クルーズネットワークの形成
- ・訪日外国人等観光客誘致を進め、観光立国に貢献

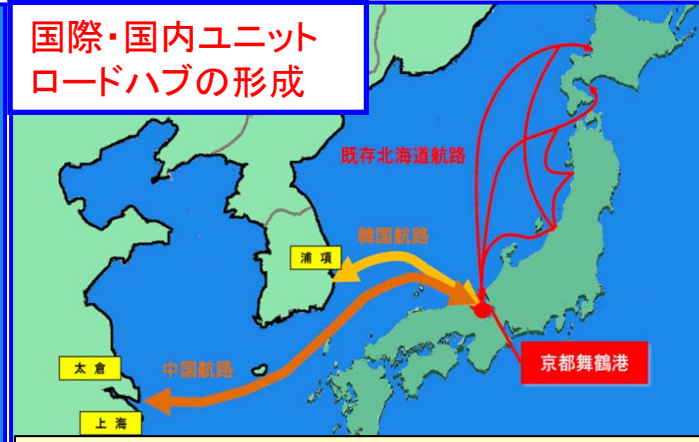


国際海上コンテナの拡大



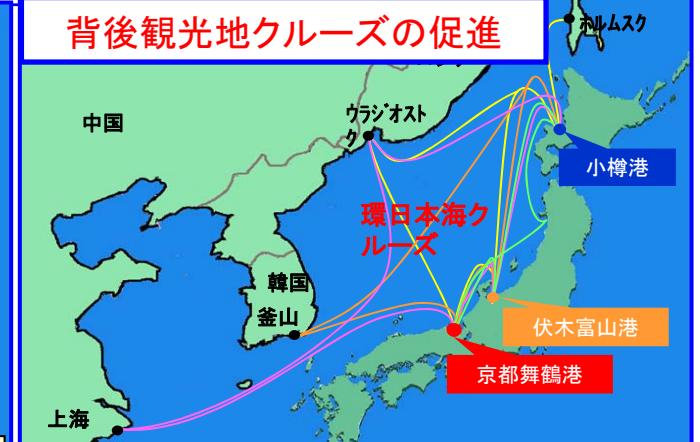
舞鶴 - ロシア間航路復活に向け、コンテナ貨物試験輸送を平成24年6月より開始。平成27年の定期運航を目指す。

国際・国内ユニットロードハブの形成



国際フェリー航路開設に向け、平成24年7月30日～8月1日に、ぱしふいっくびいなすを利用した、舞鶴 - 浦項間のトライアル運航を行った。

背後観光地クルーズの促進



平成25年度には、外航クルーズ客船が4回舞鶴港へ寄港。

近畿の日本海側拠点「舞鶴港」②

【ロシア向けコンテナ貨物トライアル輸送】

現在休止している舞鶴港とロシア・ナホトカ港間のコンテナ航路再開を目指し、平成24年6月からトライアル事業を開始。平成24年度中に6回実施。

【トライアル輸送実績】

・平成24年6月19日、8月20日、10月8日、平成25年2月14日、3月10日、3月25日 計6回実施

【今後の展開】

・引き続き極東ロシアとの定期航路トライアル輸送に取組み、その成果を見極めつつ、定期コンテナ航路の再開を目指す。

【韓国コンテナ航路の強化】

平成25年5月に新たな韓国船社が舞鶴港に寄港し、韓国航路(舞鶴-釜山)が週2便となり、ダイレクト貨物を中心とする韓国コンテナ航路を強化。

【舞鶴港-浦項港間の国際フェリートライアル運航】

舞鶴港と韓国・浦項(ポハン)港間において、平成24年度は人流トライアルを実施したが、平成25年度は物流トライアルを実施し、国際フェリー航路開設を着実に推進。

平成24年7月30日～8月3日 国際フェリートライアル実施(人流)

- ・京都府内の行政、経済関係者ら395人が参加
- ・浦項市内で山田啓二・京都府知事と多々見良三・舞鶴市長、朴承浩・浦項市長が、国際フェリーの定期航路開設に向けた「共同宣言」を表明。
- ・朴・浦項市長らとトライアルに参加した京都府北部7市町の首長らが出席し、日韓地域間交流会議を開催。国際フェリー航路の実現と地域間交流の発展に向けた「日韓地域間交流推進のための宣言」を表明。

平成26年3月(予定) 国際フェリートライアル実施(物流)

- ・国際フェリーの航路開拓に向け、京都府と浦項市がプロジェクトチームを設置し、会合を累次開催。
- ・平成25年11月9日、福知山市で「日韓交流シンポジウム～京都舞鶴港と浦項迎日湾港の定期航路開設に向けて～」を開催(浦項市長、岡西副知事講演 主催:成美大学)
- ・平成26年3月に物流トライアルを実施予定。

【舞鶴港-太倉(タイツァン)港間の国際フェリー仮想トライアル実施】

中国太倉港との定期フェリー航路開設に向け、既存の上海下関航路を活用して仮想トライアルを実施し、通関や荷役などを検証。

【舞鶴港港湾計画改訂 H25.12】

- ・H25.12 日本海側拠点港として位置付けられた機能強化を盛り込んだ、港湾計画改訂を公示。
- ・和田国際埠頭にコンテナ貨物及び既存貨物を集約することによる物流効率化
- ・内外フェリーの結節による新たな輸送モードの創出を目的として、国際フェリーターミナルを前島地区に新規計画。



平成25年5月 韓国航路週2便化



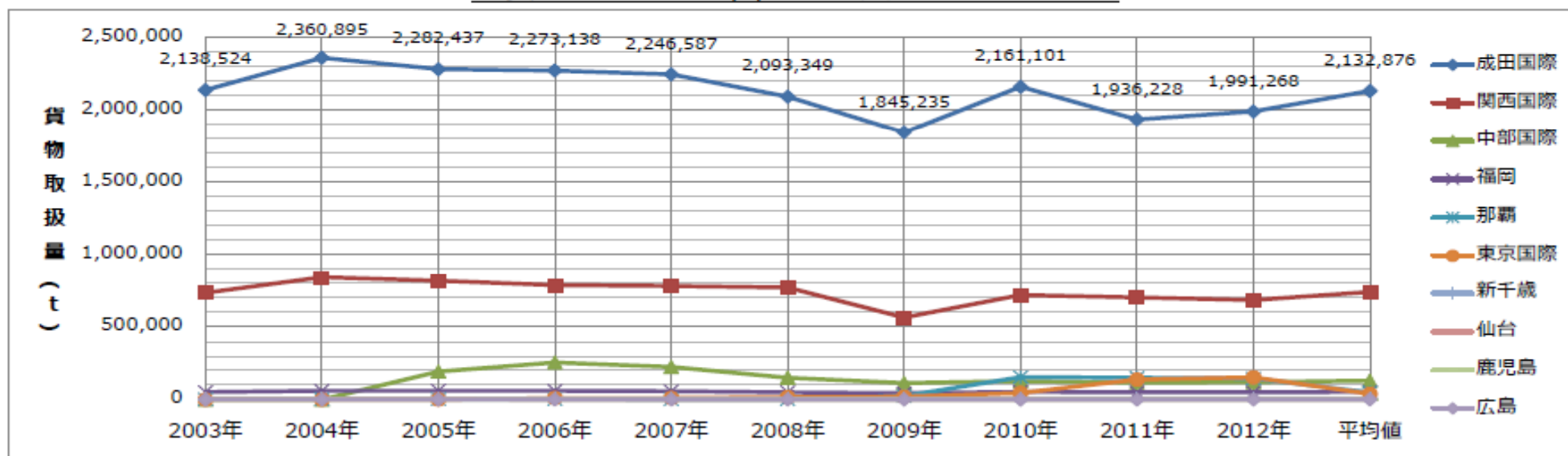
平成24年7月 国際フェリートライアルを実施



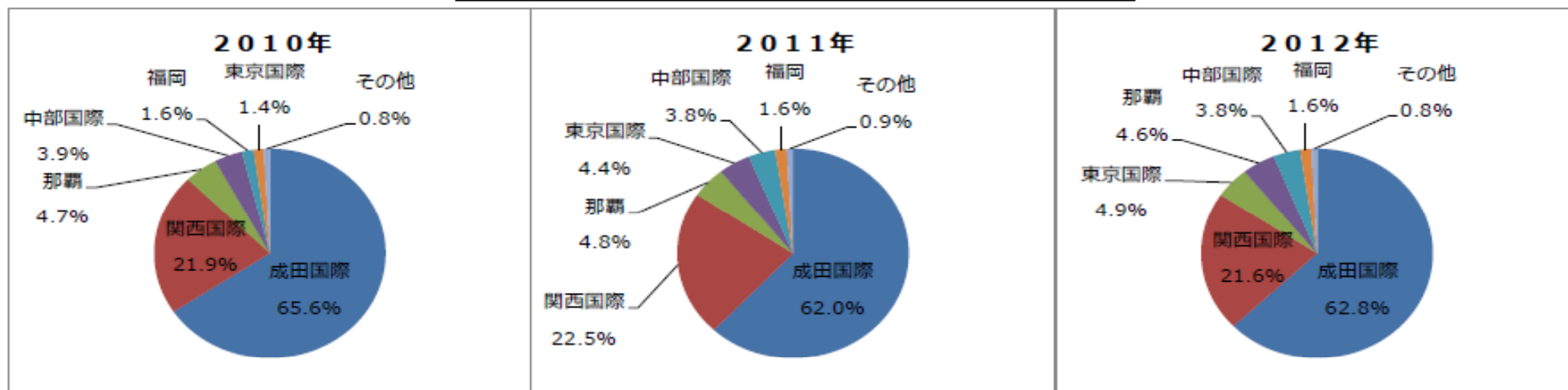
平成25年11月 成美大学でのシンポジウム

日本の主要空港における国際航空輸送の推移

主要空港における国際航空貨物取扱量の推移



主要空港における国際航空貨物取扱量のシェア



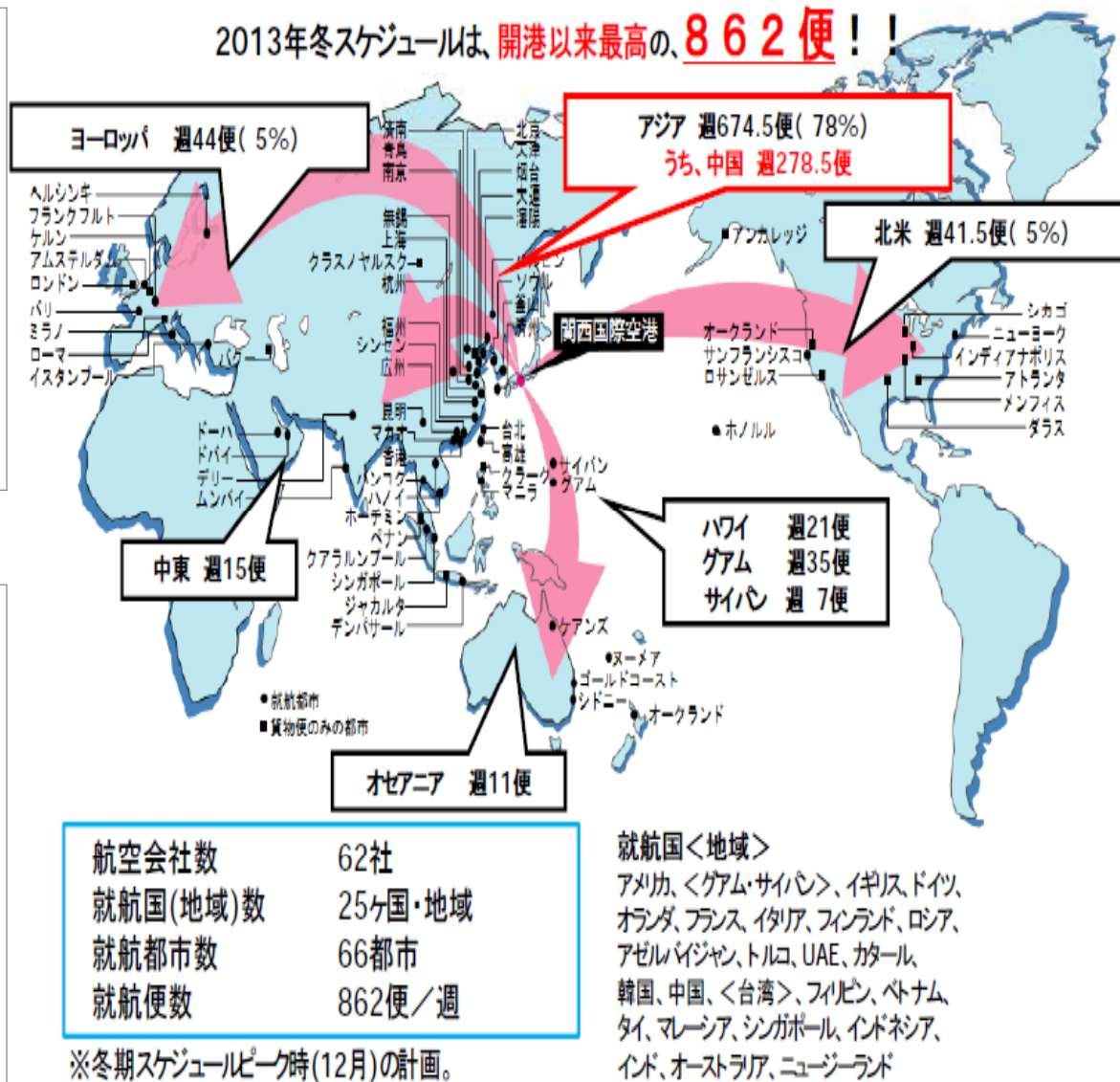
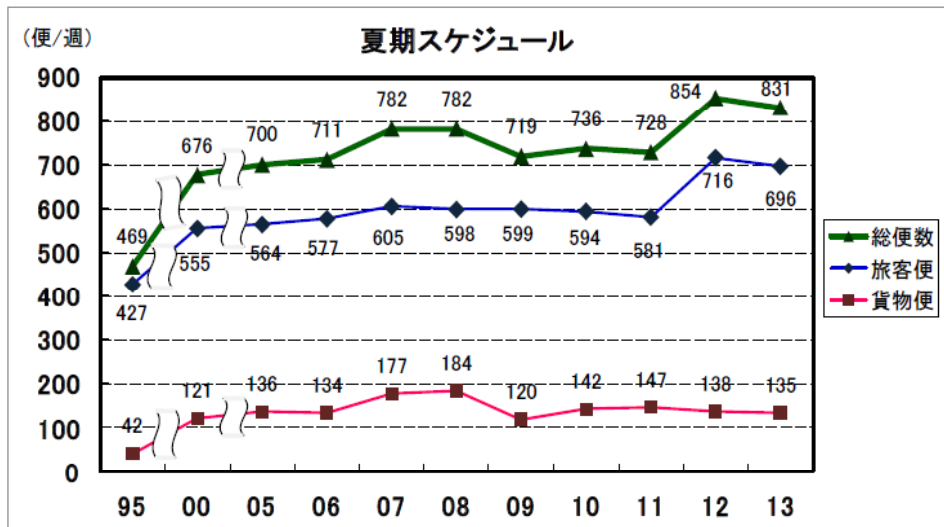
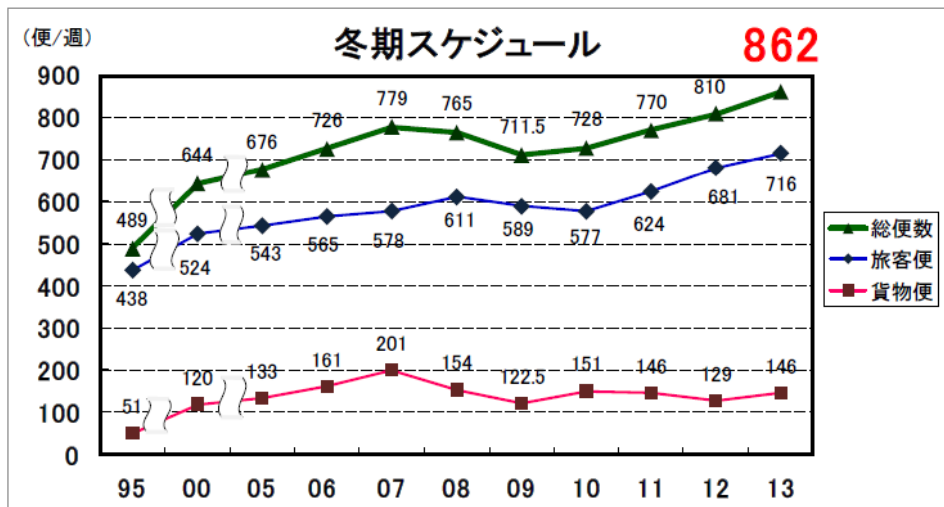
2010年 総計：3,292,234 t

2011年 総計：3,123,455 t

2012年 総計：3,168,636 t

「空港管理状況調査」より

関西国際空港における戦略的な国際航空ネットワークの形成 ① (国際線就航便数の推移・2013年国際線冬期スケジュール)



関西国際空港における戦略的な国際航空ネットワークの形成 ② (2013年国際線冬期スケジュールの主な増便等)

2013年10月23日現在

●旅客便

関空から世界へ、これからもお客様にとって便利で使いやすい国際線ネットワークを目指してまいります。

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
 CHINA AIRLINES チャイナエアライン	台北	17→24	7	10月27日から	関西空港から台北へ夜の出発便が毎日加わることとなり、観光およびビジネスの旅程がますます便利になります。
 peach ピーチ-アビエーション	香港	7→14	7	11月1日から	ピーチ香港線が、午前便を増便！香港へのアクセスがますます便利になり、旅行プランの幅も広がります。
 Garuda Indonesia The Airline of Indonesia ガルーダ・インドネシア航空	ジャカルタ	0→4	4	11月8日から	関西とジャカルタを結ぶ往復ノンストップ便が約15年ぶりに就航。
 HONGKONG EXPRESS 香港エクスプレス航空	香港	0→7	7	11月21日から	香港エクスプレス航空がこの度LCCとして就航することで、関西空港の国際線LCC就航会社数は合計9社となり、日本最多のLCCネットワークがさらに拡充されます。
 AirAsia.com エアアジアX	クアラルンプール	4→7	3	11月26日から	これまで非運航日であった火・木・日曜日にフライトが追加され、デイリー運航となります。 ※曜日によって発着時刻は異なります。
 CEBU PACIFIC AIR.COM セブ・パシフィック航空	マニラ	3→7	4	12月19日から	月・水・金・土曜日にも運航。フィリピンを代表するLCCがさらに身近に、便利になります。
 THAI タイ国際航空	バンコク	大型化		12月2日から	総2階建ての世界最大の旅客機、エアバスA380型機が、初めて関西空港に定期就航します。

●貨物便

“国際貨物ハブ空港”を目指し、さらなる貨物便ネットワークの充実を進めてまいります。

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
 FedEx Express フェデラルエクスプレス	-	38→47	9	10月27日から	38便/週から47便/週へ大幅に増便されます。
 HONGKONG AIRLINES 香港航空 香港航空	香港	3→4	1	10月27日から	関空＝香港線が3便/週から4便/週へ増便されます。

(注)新関空会社調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。

新関西国際空港(株)中期経営計画(2012年10月作成) 重点プロジェクト：国際貨物ハブ空港戦略

航空貨物の国際ネットワークにおける拠点空港・中継空港を実現するため、

- ・関西・西日本発生の貨物を『集める』(集貨) ・新しい貨物の流れを『創る』(創貨)
- ・アジア太平洋の物流が『通る』(通貨)

- フォワーダー等との連携や特区制度の活用等による物流ルートの呼び込み「集貨」。
 - ・医薬品専用共同定温庫(KIX-Medica)運用による全国からの医薬品貨物の取込(2010年9月～)
 - ・医薬品輸送ガイドライン化(2013年2月～)医薬品等輸出入手続きの電子化実証実験の開始(2013年4月～)
 - ・海空が連携したSea & Airの推進(物流戦略チーム)
 - ・物流事業者による関空を活用した商品の発売(例:日本通運「NEX-SPEED超速! 関空」「マッハ上海」等)
- 経済界、自治体等との連携による新たな航空需要の創出「創貨」。
 - ・物流戦略チームと連携した関空ニュービジネスモデルの活用(平成23年度ニュービジネスモデル認定事業)
ANAロジスティクスサービス(株)「中国向け鮮魚輸送モデルの本格事業化」
関空運輸(株) (株)ひろ「関西国際空港を利用した食品物量の拡大」 CKTS(株)「医薬品貨物専用ドーリー運用」
日本通運(株)「アジアのハブ空港を目指すKIX-GATEWAY提案(トランジット貨物取扱拡大)」
- 関西発着及びアジア・北米間の貨物輸送の中心となる貨物ハブ空港を実現。「通貨」
 - ・2014年春頃フェデラルエクスプレス北太平洋地区ハブが運用開始予定
- 物流コスト低減の料金戦略
 - ・国際線増量割引(3か年:1年目80%、2年目50%、3年目30%)
 - ・国際線貨物便深夜早朝割引(1:00～5:59着陸 50%割引)
- 伊丹空港＝関西国際空港のシナジー効果

『創貨』『集貨』の取組 ① ～ 医薬品輸送の取組 ～

2010年9月KIX-Medica、2012年8月保冷ドーリー、2013年4月薬監証明電子化による
医薬品輸送の高品質化及び医薬品EXPO、セミナー等PRにより医薬品取扱が増加。

医薬品専用共同定温庫 (KIX-Medica)

2010年9月30日運用開始

日本の空港初



【施設概要】

- ◆最大取扱量: 約1,200t/月
- ◆管理温度帯: 20℃・約650㎡ 5℃・約100㎡

【特徴】

- ・医薬品専用の20℃(650㎡)5℃(100㎡)の定温管理
- ・施設内での荷捌きも可能な十分な広さ
- ・定温コンテナ充電器完備
- ・航空機への直接搭載可能な立地

保冷ドーリー

2012年8月～運用開始

日本の空港初

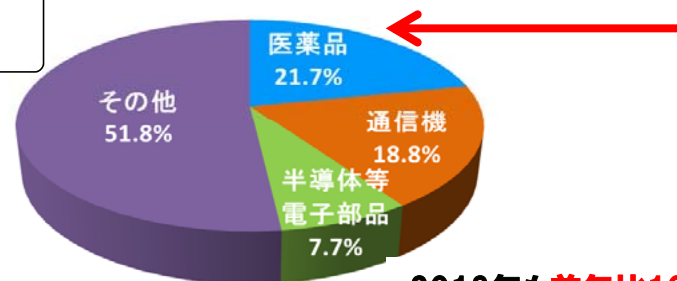


【特徴】

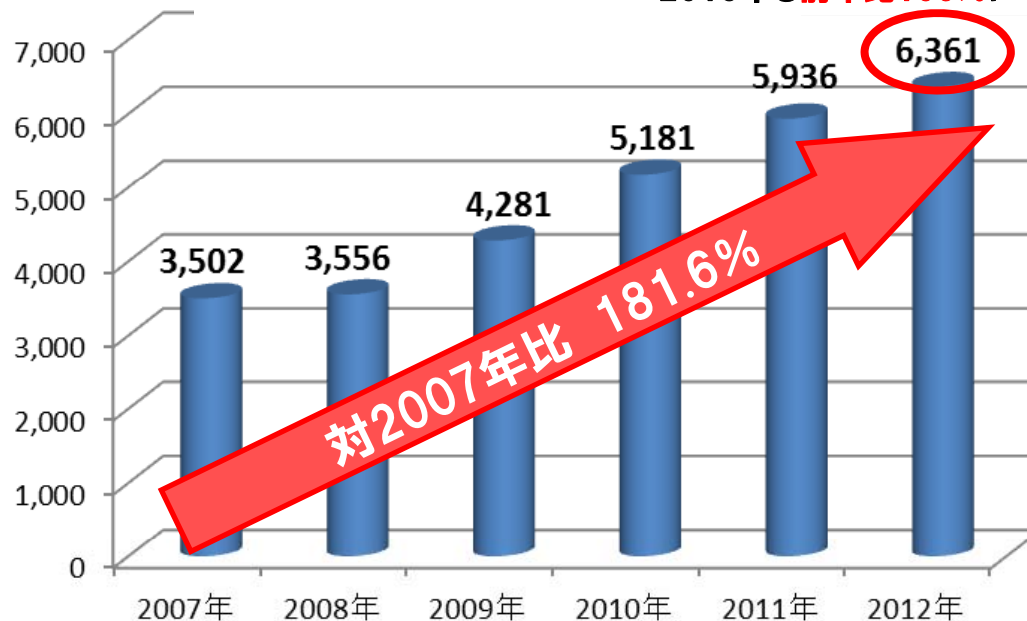
- ・高さ160cmまでのパレット LD3コンテナの運搬が可能
- ・航空機⇄上屋間の温度管理が可能に。

関西空港における医薬品の輸入額と輸入額全体に占めるシェア

輸入額総額:
2兆9,379億円



2013年も前年比105%にて推移



『創貨』『集貨』の取組 ① ～ 医薬品輸送の取組 ～

～薬監証明電子化スケジュール・利用者数等～

2013年3月11日	テスト期間スタート(対象品目:医薬品、 医薬部外品、医療機器、化粧品)
4月1日	本格運用スタート
10月18日	国との協議の結果、毒物・劇物を対象品 目に追加。
～11月30日	承認件数は1,503件。利用登録社数 は41社。
2014年9月30日	終了予定

～高品質医薬品輸送プロモーション～

- ・国内では、EXPO・セミナー等プロモーションにより多くのメーカーに浸透し、静岡、岐阜等発生の医薬品が関空利用に。
- ・医薬品貨物の更なる集貨促進のため、国内プロモーションと並行し、海外プロモーションを実施

1. 国内セミナー・プロモーション

① 医薬品セミナー

- 2013年3月12日 医薬品輸送高品質化の取組及びインテグレーターによるサービス紹介
- 2013年3月25日 医薬品輸送高品質化の取組及び薬監証明電子化説明会

② 医薬品・化粧品物流搬送EXPO

- 2013年7月10日～12日 医薬品輸送高品質化の取組及び共同出展社によるサービス紹介

2. 海外セミナー・プロモーション

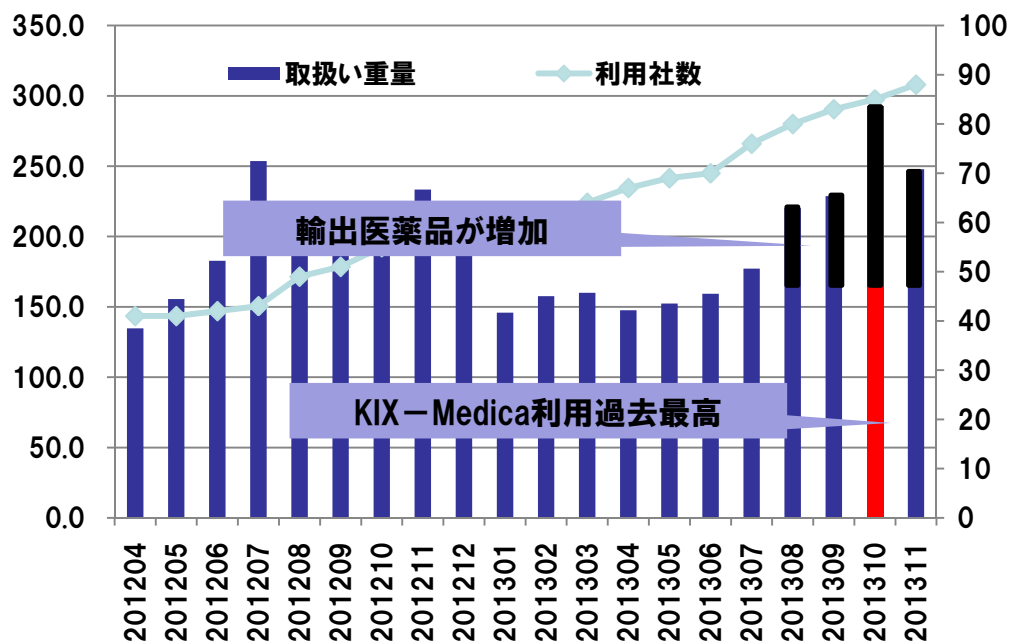
① インドネシア・ジャカルタ

- 開催日時 2013年11月12日
- 開催内容 医薬品輸送の取組およびサービスについての紹介
※ガルーダインドネシア航空のジャカルタ直行便就航(11月8日)に合わせ開催。出席者50名。

② 中国・上海 ……実施予定

- 開催日時 2014年2月20日
- 開催内容 医薬品輸送の取組およびサービスについての紹介

単位:トン ～KIX-Medica利用社数と利用実績～



『創貨』『集貨』の取組 ② ～ 『食』輸出事業の取組 ～

～ 国内サプライヤーの充実・インフラ整備 ～

- ・2013年8月、民間企業による関西・食・輸出推進事業協同組合の設立
→2014年は協同組合による**組合員の増強(100社目標)**、**体制強化**を図る。
- ・食品メーカーに輸出に興味を持ってもらい、また組合員を増強するため、
国内にて食輸出セミナー、商談会を開催する。

★関西・食・輸出推進事業協同組合の状況

2013年8月設立当初(4社／大阪・滋賀・京都・三重)



関西全域に拡大

2013年12月末(15社／大阪・滋賀・京都・三重・和歌山・兵庫・福井・奈良・徳島)



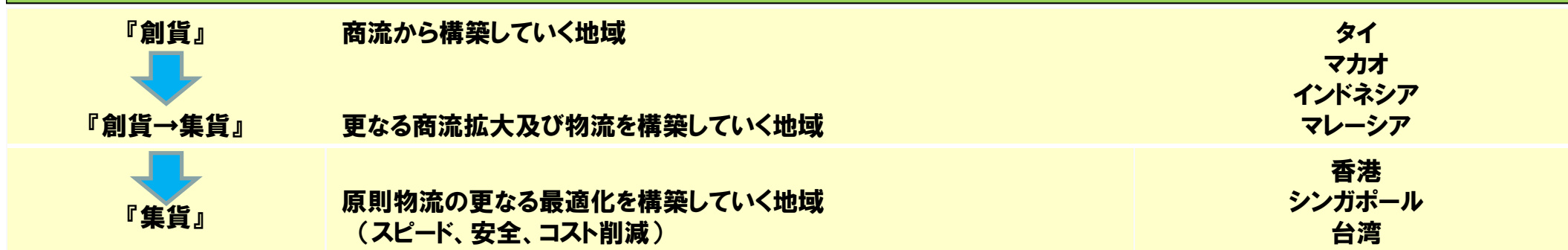
国内セミナー・商談会

- ①第1回ALL関西品評会 @ハイアットリージェンシー南港
 - 開催日時 2013年2月20日(水)
 - 開催内容 世界19社のバイヤーと関西のサプライヤーとの試食商談会
- ②第2回ALL関西「食」輸出セミナー&商談会 @関空
 - 開催日時 2013年5月8日(水)
 - 開催内容 アジアの日本食市場、組合立ち上げ案内及びタイのバイヤーとの商談会

『創貨』『集貨』の取組 ② ～ 『食』輸出事業の取組 ～

～ 海外販路の拡大 ～

- ・2013年はセミナー、商談会、タイ物産展(第3回)、インドネシア商談会等「創貨」の取組を実施。
- ・2014年は各国・地域の特徴をとらえた「創貨」「集貨」の取組を地元自治体、経済界と共に積極的に支援。



～ ロジスティクスイノベーション ～

- ・航空会社、物流事業者、関係企業と連携して関空ならではのサービスを構築
→関空への「食輸出」更なる集貨促進を図る。

1. 国内物流

- ・京都・大阪の市場内の物流事業者(日通)と連携し、混載輸送することにより国内物流費用を低減する。

2. 国際物流 ～サプライヤー、FWDR、キャリア連携による海外向け最速輸送サービスの具体化～

- ・CX(12:10着)/CI(14:00着)/SQ(15:45着)の利用によりその日のうちにレストラン等で提供する。

3. 内=際トランジット

- ・関西空港及び伊丹空港発着の国内線を利用し関空へ全国の貨物を「集貨」し、国際線に接続する。

4. 海外物流 ～海外での現地配送(空港→消費者)確立における関西=海外のドアtoドアサービスの具体化～

- ・シンガポール、香港、台湾での実証実験を検討する。

5. その他オプション

- ・三井住友海上火災との連携により「食」輸出専用保険商品の開発を行う。(関空限定・国内空港初)

『創貨』『集貨』の取組 ② ～ 『食』輸出事業の取組 ～

ALL関西「食」輸出推進事業について

- ・関空を活用し、「食」輸出拡大を目的とした民間企業の取組を支援
- ・平成24年度から開始し、平成24年度は5事業を認定（事業開始後は5事業が連携）

認定特典

- ・各機関が開催するセミナー、広報誌でのPR
- ・認定事業に対しては、ALL関西「食」輸出推進委員会による各種補助事業への共同提案

【参考】平成24年度認定5事業

1	輸出推進協同組合 三井住友海上火災	関西国際空港を利用した「食」輸出物量の拡大 (ALL関西「食」輸出推進委員会と連携した取組)
2	ジャパンファームプロダクツ	関西国際空港を利用した東南アジア向け贈答用産地直送 高級フルーツカタログ販売事業
3	スターフードジャパン	関西国際空港を利用したヨーロッパ向け「食」輸出事業
4	(株)ナビバード	ネット販売を通じて「食」を世界に広めるプロジェクト
5	JTB西日本	関西ブランド商談会

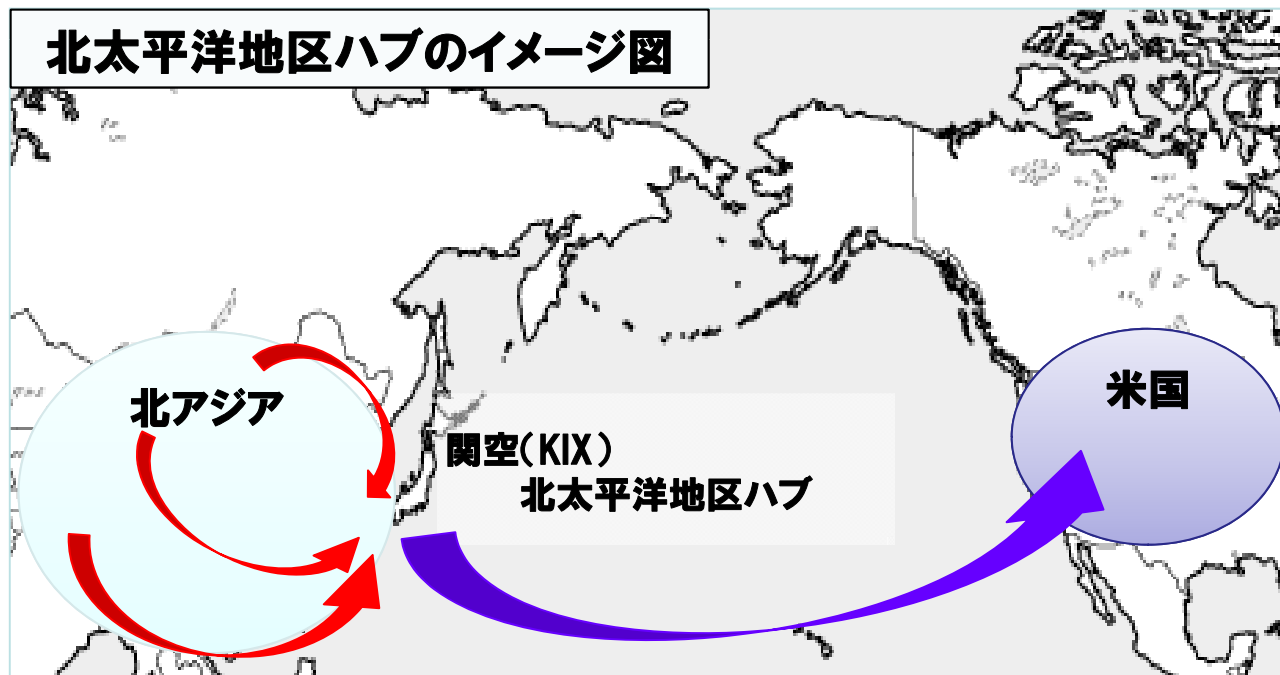
『通貨』の取組 ～ フェデックス北太平洋地区ハブ ～

《フェデックス 北太平洋地区ハブの概要》

フェデックス北太平洋地区ハブは、西日本地域の貨物取扱と、北アジアから集約した貨物を米国向けに発送するための拠点。

- ・延べ床面積 : 約25,000㎡
- ・業務内容 : 通関業務・ランプオペレーション・仕分け・積み替え
- ・オペレーション : 24時間
- ・運用開始時期 : 2014年春頃

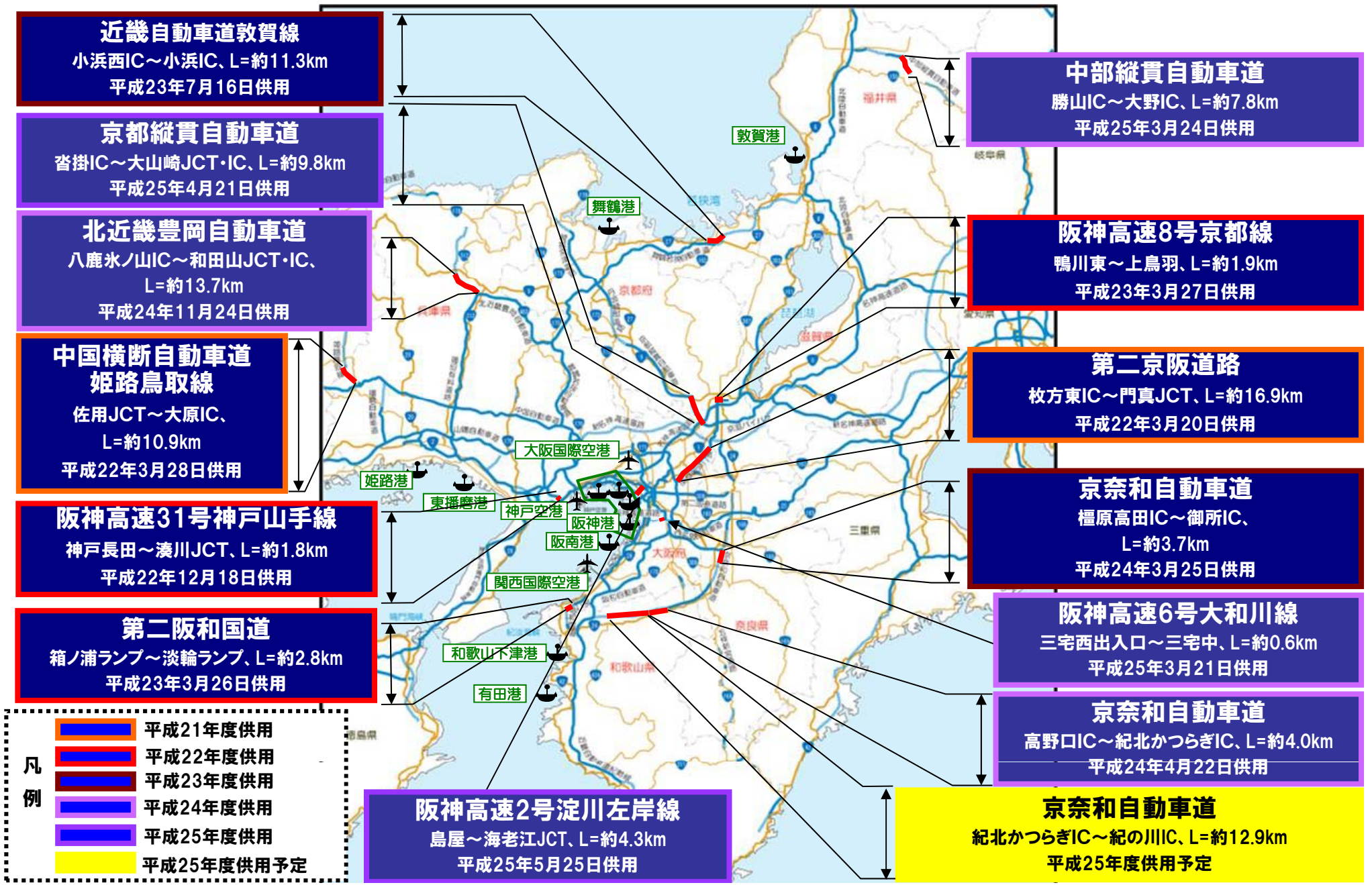
北太平洋地区ハブのイメージ図



施設のイメージ図



道路ネットワーク① (高規格幹線道路等ネットワーク 平成21~25年度供用(予定)区間)



道路ネットワーク②（大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワーク）

産業・経済の物流拠点が集積する大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワークのミッシングリンク解消

① 淀川左岸線延伸部（約10km）

- ・ H 6年12月 地域高規格道路の候補路線に指定
- ・ H16～H18 P I（パブリック・インボルブメント）実施
- ・ H24年 7月 環境アセスメント着手

② 大阪湾岸道路西伸部（約21km）

- ・ H 6年 9月 8期 都市計画決定（長田区～垂水区）
- ・ H 7年 地域高規格道路の整備区間指定
- ・ H21年 3月 9期 都市計画決定（東灘区～長田区）

③ 京奈和自動車道（大和北道路）

（約12.4km）

- ・ H20年 3月 奈良県、4月京都府 都市計画決定
- ・ H21年 3月 平成20年度新規事業化 6.3km（奈良IC～大和郡山JCT）

④ 名神湾岸連絡線（約4km）

- ・ H10年12月 地域高規格道路の調査区間に指定
- ・ H25年 8月 計画段階評価着手

⑤ 新名神高速道路

（大津JCT～城陽JCT間 約25km、
八幡JCT～高槻JCT間 約10km）

- ・ H15年12月 抜本的見直し区間に設定
- ・ H18年 2月 交通状況等を見て改めて着工の判断
- ・ H24年 4月 事業許可



道路ネットワーク③ (国際物流基幹ネットワークの整備状況(国際コンテナ車通行支障区間))

国道250号 H19年度解消済み

網干大橋(耐荷重不足)

事業: 国道250号網干大橋
 事業期間: H16~H19
 供用: H19年7月31日
 ボトルネック解消: H19年12月



補強工事完了後の網干大橋

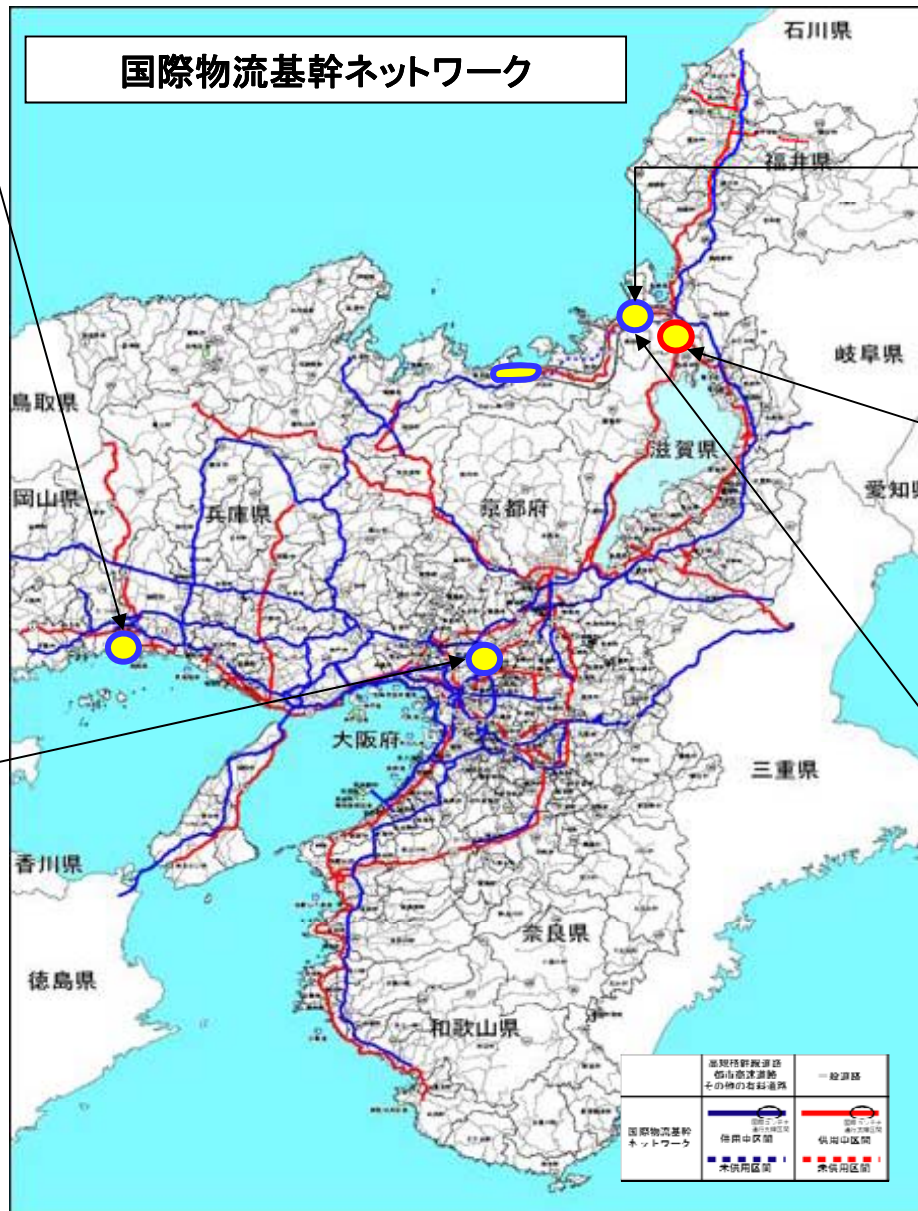
府道大阪中央環状線 H21年度解消済み

鳥飼大橋(耐荷重不足)

事業: 府道大阪中央環状線鳥飼大橋
 事業期間: H13~H22
 供用: H22年2月27日
 ボトルネック解消: H22年2月
 ※スーパー中樞港湾に係わるボトルネック箇所



鳥飼大橋



国道27号 H23年度解消済み

後瀬山、勢浜、加斗トンネル(空間高不足)

事業: 近畿自動車道敦賀線
 事業期間: H8~
 供用: H23年7月16日
 ボトルネック解消: H23年7月

国道161号

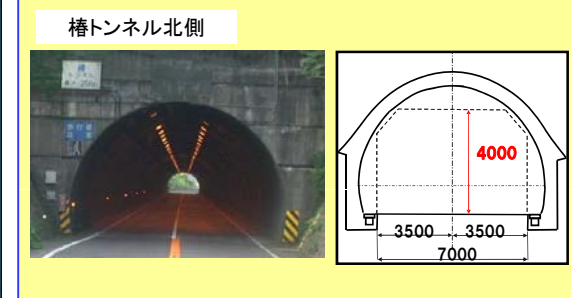
疋田トンネル(幅員狭小)

事業: 国道161号愛発除雪拡幅
 事業期間: H15~H26

国道27号 H20年度解消済み

椿トンネル(空間高不足)

事業: 国道27号美浜東バイパス
 事業開始: H3~
 供用: H21年3月29日
 ボトルネック解消: H21年3月



高速道路の有効活用・機能強化について

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、
平成25年6月 新規スマートインターチェンジ連結許可(三方PA、中川原、和歌山南)



- 平成21年3月25日以前連結許可
全国 : 50箇所
うち近畿地整 : 1箇所
- 平成21年6月30日連結許可
全国 : 19箇所
うち近畿地整 : 4箇所
- 平成23年3月1日連結許可
全国 : 8箇所
うち近畿地整 : 0箇所
- 平成24年4月17日連結許可
全国 : 17箇所
うち近畿地整 : 3箇所
- 平成25年6月11日連結許可
全国 : 35箇所
うち近畿地整 : 3箇所

凡 例		
高規格幹線道路	供用中	
	事業中	
	調査中	
IC等	スマートIC	
	SA・PA	
	既設・計画	